

静岡県知事賞

毎年開催される島田税務署管内納税貯蓄組合連合会主催の「税に関する作品」。租税教育の一環として、未来を担う児童・生徒たちが「納税者」の立場になったときに「税の意義や権利・義務」について正しく理解し、社会や国のあり方を主体的に考える意識を涵養することを目的に実施されています。

Interview～受賞を振り返って～

社会の授業の中で、夏休みの課題として取り組みました。テーマを決めるにあたり、いつも使っているもので税金を利用しているものは何だろうと考えたときに、通学や出かけるときに必ず使用するトンネルが思い浮かびました。また、トンネルを使わないで昔の道で移動しようとする、倍の時間がかかり大変だということ先生や両親から聞いたためこのテーマに決めました。勉強するまでは税に関する知識が曖昧だったので、作文を書くとなった時に上手に自分の言葉でまとめることができるのか不安でした。

受賞報告を受けたとき、はじめはこの賞がどんな賞なのかイメージが付きませんでした。次第に周りの人から声をかけてもらうことが増えたことで実感するようになりました。社会の授業の中で学び、自分が調べたことが評価され、このような素晴らしい賞につながったことをとても嬉しく思います。



作文の部

本川根中学校

こばやし の ゆ
小林 叶夢 さん

身の回りの税金

本川根中学校 小林 叶夢

私がいつも学校に行くために通っているトンネルは、税が使われて造られています。私が通学の際に通っているトンネルの長さは、約三百三十二メートルです。このトンネルがなかったら昔の道を約二・八キロメートルも歩かないと学校に行けません。

でも、このトンネルを造るために、どのくらいの税金が使われているか知っていますか。私は、一キロメートルのトンネルを造るために使われる税金は、約三億円くらいだと思っていました。だけど実際に使われている税金は、約三十六・五億だということが分かりました。普段なげなく使用しているトンネルが、それほど多くの税金が使われ造られたり、維持されていると考えると、とてもありがたいが私たちが暮らしやすい生活ができているのは税金をこのような行政サービスとして使われているからだと思います。

また、どのくらいの税金が私たちの生活に使用されているのか考えてみました。まず、トンネルで考えてみると私の暮らしている川根本町には道通りだけで約十本のトンネルがあります。そして、大井川に架かっている橋だけでも十本以上はあります。その他にも教育に使われる税もあります。調べてみると川根本町は約四十億もの税金が私たちが暮らすやすい生活をするために使用されていることが分かりました。きっとこのような行政サービスがないと、山が多い川根本町では暮らしにくい生活になると思います。例えば私が祖母の家に行くときは橋を五本、トンネルを八本くらい通らなければいけません。また、買い物に行くときは島田方面か静岡へ行く国道三六二号を通っていきます。行く時に道路が綺麗だったり、少しでも通りやすい道でなければとても行きにくいです。生活が不便になってしまいます。また、川根本町に観光に来る観光客の方は今よりもっと少なくなってしまうと思います。だからより私たちの生活はとても税金で助かっていると思いました。

今の日本は国の借金がどんどん増えていっています。だから、行政サービスを減らすという考えもあると思います。でも、私たちのように税金でのサービスがあることで生活がしやすい人も多いと思います。このようなことを踏まえて私は税金に対して好感を持ちました。だから、私はこれから税金についてのニュースをよく見たり、知識を増やして、何年後かに払う税金について考えていきたいです。

川根本町長賞



本川根小学校
おおむら ゆう き
大村 優綺 さん

習字は習い事で約2年間通っています。とめ方、はらい方などを意識して書きました。初めての賞で、驚きました。がうれしかったです。

習字の部



中川根中学校
みやかみ か い
宮上 叶至 さん

自分の実体験から、税金の大切さを皆に知ってもらいたいという思いで書きました。このような賞をいただけたことがとてもうれしいです。

作文の部

税金は僕たちを支えてくれます

中川根中学校 宮上 叶至

税金と聞くと嫌なイメージが浮かぶ人もいます。消費税は、あがってきています。三パーセントから五パーセントと上がり、今では、十パーセントとなっています。授業で習った税の種類は、消費税の他に地方税、住民税などがあります。これらの税を払うことはどのようなことにつながるのか、中学生には分かりにくいので、必要性を感じていない人がいます。しかし、僕は税金の必要性を知っています。

僕は、中学生になった今では風邪をひくことがかなり少なくなりました。しかし、幼い頃は風邪をひくことがかなりありました。幼稚園のころは、犬が好きだったので、犬と一緒に遊んでいました。そうしたら、アレルギー反応が起きてしまいました。アレルギー反応だけならよかったのですが、僕は喘息ももっていました。だから、とてもきつい状況でした。呼吸はしづらく周りがなかなか見れない状況でした。その時は、死ぬかと思いました。急いで、父が病院に連れて行ってくれました。病院では、呼吸器をつけてもらい助かりました。他にも色々対応をしてくれたのでなんとか冷静になりました。それから少し時が経って、小学三、四年生のときに、疑問に思ったことがありました。お金は、どこれくらいかかっていたのだろうか。というものです。親に聞いてみると、税金で支払われていたことを知りました。そのときに、税金があつてよかったものすごく実感しました。色んな処置をしてくれたのに、税金のおかげでお金は払わなくてよくなりました。今ではとても健康な体になりました。病院の人達のおかげという気持ちの方が大きいのですが、税のおかげといっても過言ではないと思います。

そのときをきっかけに税に興味がもてました。この世の中は、税がとても大切です。道路を直したりゴミ収集車などがあるのも税のおかげです。そうは言っても、国民はもっと税を払うべきだとも言えません。税でお金に困ることが多いからです。だから、このバランスをしっかりと取ることが大切だと思います。

僕は、これから税についてもっと知りたくくなりました。税金に関する職業に少し興味もわいてきました。だから、社会の授業や自分で調べていることを通して積極的に税について知っていききたいです。